

津波以外の災害について



地震の特徴

予想されている震度階級

気象庁震度階級関連解説表より作成。震度階級 0～5弱は記載を省略

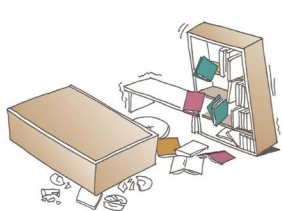
震度5強

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



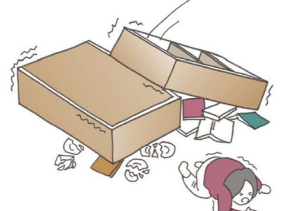
震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



震度6強

- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、土砂災害が発生することがある。
- 這わないと動くことが出来ない。飛ばされることもある。



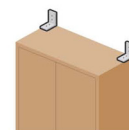
震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが増える。



家具の転倒・落下物の防止対策（器具などの設置例）

L字金具



L字型をしており、家具の天板部と壁の中の桟や鴨居などにネジで固定します。

ベルト・チェーンタイプ



チェーンやベルト状の器具で家具の側板部と壁の中の桟や鴨居などをネジで固定します。

つっぱり棒



天井と家具の天板との間につっぱり棒を入れて固定します。

粘着マット



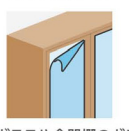
粘着力や弾力のあるマットを、テレビや家具の下に敷き、固定します。

開き戸固定器具



開き戸に掛け金具やチェーンなどを取付け、揺れによる扉の開放と食器の飛び出しを防ぎます。

ガラス飛散防止フィルム



窓ガラスや食器棚のガラス面に貼り付け、割れたガラスが飛び散るのを防ぎます。

※家具転倒防止器具は、確実に固定することが大切です。ここに紹介した以外の方法で家具を固定する器具も市販されています。



土砂災害の特徴

地震による揺れや、大雨・長雨により山沿いや山間部では、土砂災害の危険性が高まります。

がけ崩れ

斜面が急に崩れ落ちる



地震や大雨、長雨により大量の水分が地面に染み込み、緩くなった斜面が瞬時に崩れ落ちる。

土石流

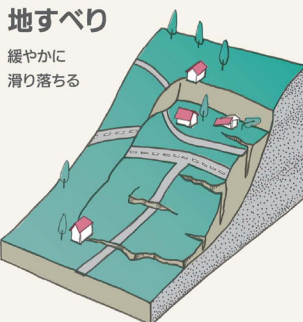
大量の土砂や石が一瞬にして流れ落ちる



地震や集中豪雨等により水を含んだ土砂や石が谷沿いに津波のごとく流れ落ちる。

地すべり

緩やかに滑り落ちる



粘土質等の滑りやすい土質を境に上部の路面が地震や大雨等の原因で滑り落ちる。

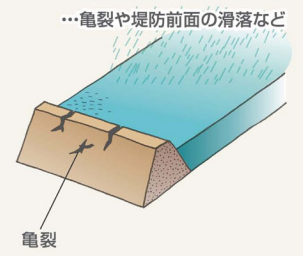


ため池はん濫について

地震の揺れによる堤防の破損や、大雨・長雨の増水により、ため池はん濫の危険性が高まります。

1 大規模地震により堤防破損、大雨で増水

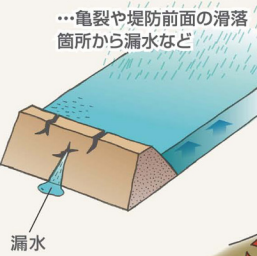
…亀裂や堤防前面の滑落など



ため池決壊のイメージ

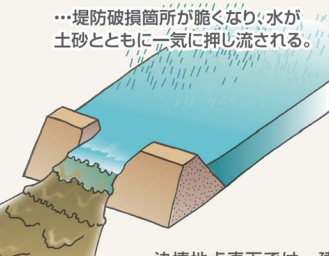
2 大雨等でため池の水位低下が困難

…亀裂や堤防前面の滑落箇所から漏水など



3 破損した堤防が貯水に耐えきれず「決壊」

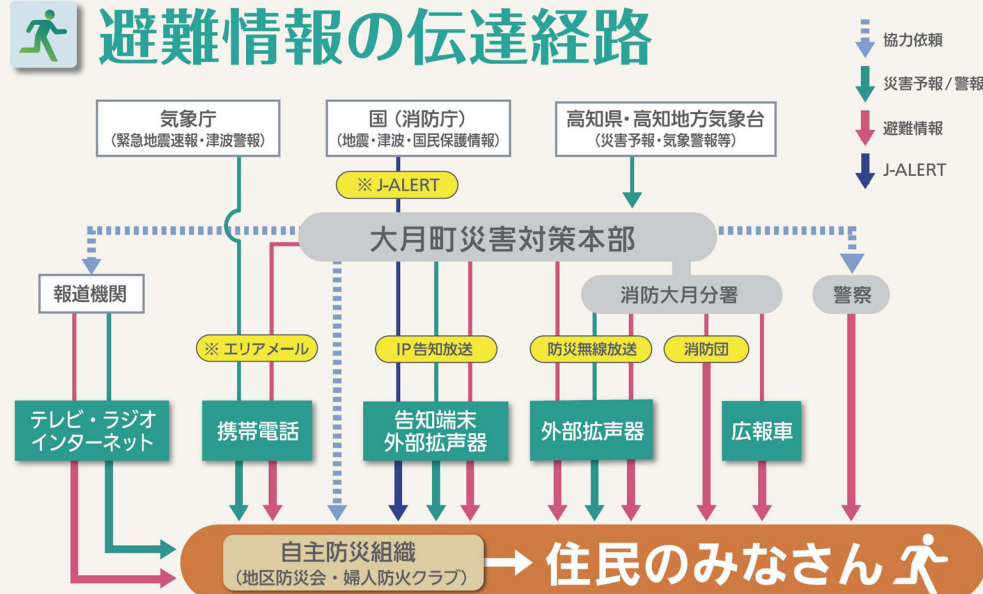
…堤防破損箇所が脆くなり、水が土砂とともに一気に押し流される。



決壊地点直下では、建物や車は押し流される可能性があります。



避難情報の伝達経路



※エリアメール（緊急速報メール）
気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、市町村が発信する災害・避難情報などを受信できる。対象エリアにいる方に対して一斉に伝達することが出来る無料携帯電話サービス。

※J-ALERT（全国瞬時警報システム）
大規模な地震や他国からの武力攻撃など、対処に時間的余裕のない危機発生時に、国から人工衛星を介して、市町村及び住民に迅速に緊急情報を伝達するシステム。



家族の安否を確認する方法

大災害時には電話は混線し、通話が出来なくなる可能性が高くなります。いざという時に慌てないよう通話以外の安否確認方法をあらかじめ確認し、使えるようにしておきましょう。

災害用伝言板

ネット接続できる携帯電話（ネット）

携帯電話各社は災害用伝言板を災害時に用意しています。ご利用の携帯会社の災害時のサービスを調べておきましょう。

例
au 「災害時ナビ」
Softbank 「災害時伝言板」
docomo 「災害用安否情報（iモード）」

Web171（災害用伝言板）

ネット接続できるパソコン/スマートフォン/タブレット

web171のホームページにアクセスし、電話番号を入力し安否確認をします。安否確認を取りたい人の電話番号を携帯電話の中だけに保存するのではなく手帳や本マップの防災メモなどにも書いておきましょう。

使い方はこちら
<https://www.web171.jp/>

171（災害用伝言ダイヤル）

固定電話/携帯電話（音声）

固定電話でも携帯電話でも利用可能で、最大30秒まで伝言を吹き込めるサービスです。
※大災害時には音声通話が制限される可能性があります。

使い方はこちら
<http://www.ntt.co.jp/saitai/171.html>



非常持ち出し品

いざという時のために、日頃から最小限の非常持ち出し品を用意し、両手が空くリュックサックなどに入れておきましょう。また、準備した非常持ち出し品を地域の防災訓練の際に活用しましょう。

必ず必要となるもので、食料や水を3日分は用意しましょう



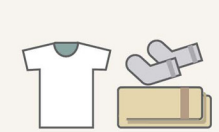
3日分程度の食料や水



情報収集に必要なラジオ、携帯電話、夜間の避難に必要なライト



常備薬などの医薬品



当面の衣類、タオル、ウェットティッシュ



頭部を守るためのヘルメット、防災ずきん



乳幼児がいる家庭ではオムツ、ほ乳瓶



貴重品（免許証や健康保険証のコピー、現金、通帳、印かん）

その他
・軍手
・メガネ
・ライター
・予備乾電池など



避難生活に必要なもの（二次持出品）も、余裕があれば用意しましょう